

施工現場での河川情報の活用について

(一財)河川情報センター・広島センター

秋山 良壮

〈発表要旨〉

平成30年7月豪雨をはじめ、近年、これまでに経験したことのない豪雨により、河川の大規模な氾濫や土石流等が全国各地で相次いで起きており、尊い人命や貴重な資産が失われるなど甚大な被害が生じ、社会経済活動にも大きな影響を与えている。

このため、国土交通省において「水防災意識社会再構築ビジョン」がとりまとめられ、防災施設の整備などハード対策を進めることはもとより、災害時の迅速かつ的確な応急対策活動及び住民の避難行動などに役立つ、流域の降雨状況、河川の水位状況といった水文観測情報の提供や危機管理などソフト対策のより一層の充実が強く求められている。

一方、情報ニーズの多様化・高度化を背景に、情報関連技術の飛躍的な発展とも相俟って、水文観測情報の提供内容やその入手手段も充実してきている。

国土交通省「川の防災情報」では、国土交通省及び都道府県等が観測するリアルタイムの水文観測情報を一元的に集約し、PCやスマートフォン等によって、広く一般に提供されている。さらに、現在整備が進められている低コストの水位計(危機管理型水位計)に関する観測情報についても、その観測情報を簡易に閲覧できる「川の水位情報」を用いた一般への提供が、平成30年6月から始まっている。

「川の防災情報」及び「川の水位情報」は、住民の避難や災害応急対策等での活用はもとより、気象・水象の影響を受け易い施工現場では、工程・品質など様々な管理においても、これらの情報の活用は有効であると考えられる。

本発表では、「川の防災情報」及び「川の水位情報」を用いて知ることができる情報の内容について説明するとともに、これらの情報を入手するための操作方法(PC)についても併せて紹介するものである。

なお、「川の防災情報」及び「川の水位情報」によって提供されている現時点での主な情報は、次のとおりである。

1. 流域の降雨に関する情報
 - ① レーダ雨量計の観測情報
 - ② 地上に設置されている雨量観測所の観測情報
2. 河川の水位に関する情報
 - ① 河川に設置されている水位観測所の観測情報
※ 危機管理型水位計の観測情報も含む
 - ② 洪水予報に関する情報
3. ダムに関する情報
 - ① ダム諸量に関する情報
 - ② ダム放流通知に関する情報
4. CCTVカメラの画像に関する情報